

【2022年度】

オンライン授業評価に対するコメント、授業改善目標【リテラシーレベル】

科目名	コメント	授業改善目標
科目01	学びに関しては、1番高い評価の回答が最も多い質問がほとんどであったが、下から2番目以下の低評価の回答もほとんどの質問で1～2名いる結果となった。	自由記述で一度も出てない旨の記述もあったため、低評価の回答の理由は不明な点があるが、低評価がなくなるよう、一人ひとりの受講者により配慮していきたい。ITビジネスに関しているいろいろ知ることができたとの回答をふまえ、今後もITビジネスの現状をタイムリーに伝えていけるよう努めたい。
科目02-1	オンデマンド形式であったが、受講生の多くは能動的に学び、内容をよく理解できていたようでした。授業の説明も概ねわかりやすかったようです。多く受講生がこの授業に満足し、友人や後輩に勧めたいと回答してくれていました。ありがとうございます。	対面でない分、他者との議論や他のことに応用する機会が十分ではなかったかもしれない。オンラインツールによるディスカッションなどによって促進していきたい。
科目02-2	学びに関しては、上から2番目の評価の回答が最も多い質問がほとんどであり、下から2番目以下の低評価の回答もほとんどの質問で一定数いる結果となった。	評価が高く有意義だったと思う受講者と、それらと反対であった受講者に二分されている印象を受けたので、特に後者に対して配慮した工夫を考えしていきたい。
科目02-3/4	パソコンの利用方法をリテラシーレベルで教えるのか、データサイエンスの技術的なことを教えるのか、授業の趣旨が明確でなかったのが問題だと感じた。コンピュータ初学受講生には、別の機会にICTのリテラシーを教授しておくべきだと感じた。	ICTリテラシー教育の充実を図る。
科目03		
科目04		
科目05		
科目06	本授業では、マーケティングの基礎知識およびデジタル社会におけるデジタル・マーケティング戦略を理解することを目的としている。授業の難易度については特に大きな問題がないと理解する。全体としては、学生も満足しているようであるが、私語や授業中に携帯電話やパソコンでゲームをしたり、動画を見たりする学生も見られた。	授業中の電話やパソコンでの遊びが多いため、授業中に練習問題を増やし、ミニレポートを実施する。また、学生を指名し、口頭で答えさせる方法も実施したい。
科目07	おおむね高い評価をいただきました。自由記述をみると、「Excelの使い方が良く分かった」といったようなものが多く、PC操作については良いものの、「その結果どのような問題が解決できるか」という内容理解の面は、不十分な面もあったかと思います。	PCを操作するのみではなく、そこに出てきた数値が何を意味するのか、なぜそのような手法を使うことができるのかなどを、理解してもらうことを目指しましたが、まだまだうまくいきません。2023年度は「説明する力」を伸ばすような授業設計をしていきたいと思います。
科目08	本年度は履修者があまり多くなく、これまでに私の他の授業を履修した学生がほとんどだったので、アットホームな雰囲気です授業を実施できました。 自由記述の中に、「数学の側面が強い」というものがあったのですが、この科目は私の担当科目の中で最も数学的要素が少ない科目です。それでも「数学的側面が強い」と感じる学生がいることに驚きを感じるとともに、より一層の授業運営上の工夫を考えないといけないと思いました。毎回の授業を、動画視聴→クイズ→講義→問題演習という流れにしており、おおむね高評価をいただきました。	2022年度入学生からこの科目は2単位科目となります。週1回で実施ということになりますが、その中で基本的な知識の習得とデータを通して日本経済を理解することをおこなうことになります。タイトなスケジュールになりますが、詰め込みにならないようさまざまな工夫を行いたいと思います。2021年度以前入学生は後期にデータを通して日本経済を理解する演習をたっぷりおこなっていきます。
科目09		
科目10		
科目11	回答者は1名のみであったが、最も低い評価の回答が多数あり、大いに反省したい。	能動的な学びの姿勢を促すための工夫、学生が積極的に「学び」を進めていくための配慮・工夫等について全くなされていなかったとの回答であったため、今後は、教員による説明の時間を大幅に学生による話し合いの時間に移行するなど、大きな改革をしていきたい。
科目12	概ね内容を理解してくれ、90%の理解度を示してくれたのは嬉しかった。また、授業の満足度は72.4%で、成長を感じてくれた学生が9割近くに登ったことも有り難い。常識を疑い、自分で考えることの多い講義だと思うがみんな頑張ってくれた。	情報倫理のパートでは、プライバシーと著作権の一般的な説明をもう少し丁寧に行うようにしたい。また、セキュリティ技術については、暗号技術の実践に偏ったので、概説的な部分をもう少し熱くしたい。

科目名	コメント	授業改善目標
科目13	全般的に好意的な評価を頂けました。前年度はリモート授業であったことから、各受講生の理解度の確認やフォローに不十分な点が目立ちましたが、今年度は対面授業環境下で少人数教育の利点を活かし、比較的うまくそれらの問題を解消できたと感じています。基礎的な事項の理解とデータ解析の体験（実習）に重点を置いた科目構成ですが、後者については、多変量解析など高度な分析を体験する時間をもう少し取ることができれば、なおよかったと思います。	個々の受講生の理解度に合わせた進捗を継続しつつ、多変量解析など、やや高度な分析を体験する時間も確保できるように、バランスを考慮しながら組み立てていきたいと思います。
科目14		
科目15	週1回の授業でしたので、内容の定着をはかるために多くの宿題を出しました。本年度は履修者が少なかったこともあり、丁寧にフォローアップすることができ、高評価につながったと思います。	今年度の授業において、「統計学基礎」の上に積む内容をどの程度行うかが把握できました。次年度も丁寧なフォローアップを心がけるとともに、「計量経済学」につながる授業を意識し、回帰分析をより詳しく取り上げようと思います。
科目16	おおむね高い評価でしたが、「わかりやすさ」「成長した」などの項目でネガティブな評価の学生が若干いました。 2020年度から「統計検定3級」の試験範囲が広がったこと、PC実習は『データサイエンス入門』でも取り扱われることなどをふまえ、今年度は記述統計・確率の基礎の部分の進捗を早め、推定・検定の部分を手厚く取り扱うようにしました。消化不良になってしまった学生も若干いましたが、授業内の繰り返しの理解度確認によって、多くの学生は理解できたと思います。そのあたりは自由記述でも好意的に書いていただきました。ありがとうございます。 毎回の授業は、動画視聴→クイズ→講義→問題演習という流れでおこないましたが、問2「テキストやプリント・視聴覚教材等は、授業内容の理解に効果的に使用されていたと思いますか。」の高評価にあるように、効果的であったと考えられます。自由記述でも好意的な書き込みが多くありました。 「特定の学生だけに話しかけている」というご意見をいただきましたが、全員に均等に話しかけることは無理ですし、質問を無視するなどのことはありません。授業中は教室を動き回って理解度の確認に努めていますので、このような書き込みをした方も積極性を出して話しかけていただければと思います。	毎回の授業計画は本年度でほぼ固まりました。次年度も学生の理解度を確認しながら、演習問題の量を調整していきたいと思います。 時間に余裕があれば、世の中のどのような場面に統計学が応用されているかということについても、積極的に触れていきたいと思います。
科目17	受講者が1名だったこともあり、ほとんどの項目で最も良い評価となった。	上から2番目の評価の項目が2つあったので、それらの項目が最も高い評価となるよう、受講者の様子に細かく配慮したい。
科目18	1名の回答なので判断できない。	